

教育人的資源部 告示 第 2007-79 号 [別冊 16]

# 中学校裁量活動の 選択科目教育課程

教育人的資源部

## 第2章 中学校裁量活動の選択科目教育課程

---

1. 漢文

2. 情報

3. 環境

4. 生活外国語

---

## 4. 生活外国語

ー ドイツ語、フランス語、スペイン語、

中国語、日本語、ロシア語、アラビア語 ー

### 1. 性格

21世紀は国際化社会、情報化社会という一つの垣根の中で共存して生活を営まなければならない。特に、交通手段およびコンピュータなどの急速な発展によりグローバル化の趨勢がより加速化され、これにより国家間の交流がさらに活発になっている。国家間の交流においてもっとも基本となるのは、国家相互間でコミュニケーションが円滑になされなければならないということである。このような趨勢はわが国と隣接する国家や、政治的、経済的にわが国と重要な関係を維持している世界主要国家の言語と文化を学ぶ必要性を想起させる。

このような必要性に基づき、「生活外国語」を中学校裁量活動の選択教科の一つとして編成し、中学校レベルで英語以外の外国語をもう一つ学べるようにしたことは非常に意味あることと言える。「生活外国語」は、全世界の数十億の人口が母語または第2言語として使用している主要言語である、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「日本語」、「ロシア語」、「アラビア語」の7言語で構成されており、その実用的価値が非常に高い教科と言える。

外国語教育の真の意味は、実用的価値以外に、より本質的かつ根本的なところにも求めることができる。言語とは文化を映す鏡であり、文化的特徴はその文化を共有する人々が使用する言語を通じてもっともよく現れる。様々な外国語を教育するという事は様々な文化に接することを意味する。青少年期に「生活外国語」学習を通じて接する、自国とは異なる外国の文化、価値観などは青少年の心の中の豊かで多様な精神的滋養となるであろう。

重要な教育的価値を内包している「生活外国語」教育を受けることで、学習者は初級レベルの外国語を学んで当該外国語の使用者と基礎的なコミュニケーションを行ない、さらに上級学校へ進学して当該外国語を継続学習する土台を作る。また、外国文化に対する興味と関心を基に外国人の日常生活と生活様式に対する理解の幅を広げ、より肯定的で積極的な生活態度を身につけ、さらに世界の中の韓国人としてふさわしい行動様式を身につけることができるように

する。

## 2. 目標

日常生活レベルの簡単な外国語でコミュニケーションできる基礎的な能力を養い、外国文化について関心を持つ。

### 1) 言語技能

#### (1) 聞く

- ① 発音の違いを区別して聞く。
- ② 簡単な単語を聞いて理解する。
- ③ 簡単な文章を聞いて理解する。
- ④ 簡単な会話を聞いて理解する。
- ⑤ 簡単な言葉を聞いて行動する。

#### (2) 話す

- ① 発音を聞いて正確に真似る。
- ② 簡単な単語を聞き、それに付いて発音する。
- ③ 簡単な文章で会話をする。
- ④ 簡単な言葉で物事や状況を説明する。
- ⑤ 簡単な言葉で感情や意思を表現する。

#### (3) 読む

- ① 音と文字の関係を正しく理解して発音する。
- ② アクセントを含め正しい発音で単語を読んで理解する。
- ③ イントネーションを含め正しい発音で文章を読んで理解する。
- ④ 日常生活レベルの短くて易しい文章を読んで素材及びテーマを把握する。

#### (4) 書く

- ① 綴字や記号に注意しながら単語を正確に書く。
- ② 簡単な文章の空欄を埋め文章を完成させる。
- ③ 簡単な段落単位の文を聞いて書き取る。
- ④ 日常生活レベルの短くて易しい内容を文章で表現する。

### 2) 文化

- ① 外国語学習を通じて当該国の人々の日常生活文化を理解する。
- ② 外国の政治、経済、社会、歴史などの主要な事項について関心を持つ。
- ③ 外国文化理解を通じてコミュニケーション能力向上に役立つようにする。
- ④ 外国文化と韓国文化の比較を通じて文化の普遍性や特殊性を認識する。

### 3) 態度

- ① 外国語でコミュニケーションしてみようとする積極的な態度を持つ。
- ② 外国文化について関心を持ち、自ら調べてみようとする態度を持つ。
- ③ 外国文化を理解することで韓国文化に対する認識を新たにし、正しい価値観を持つ。

### 3. 内容

#### 1) 内容体系

領域	内容	
言語的 内容	言語技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞く」「話す」「読む」「書く」活動をバランスよく展開できるように領域別に内容提示</li> </ul>
	言語材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発音及び綴字（文字）：発音と綴字（文字）に関する内容提示</li> <li>・ 語彙：高等学校外国語教育課程の基本語彙のうち、300語程度を履修</li> <li>・ 文法：意思疎通基本表現に使われた文法項目参照</li> <li>・ 意思疎通基本表現：初級外国語学習に相応しい内容</li> </ul>
文化的 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標言語圏の日常生活に関する内容</li> <li>・ 目標言語圏の社会文化に関連する内容</li> </ul>	

## <日本語>

### 1. 言語的内容

#### 1) 言語技能

##### (1) 聞く

- ① 清濁音、長短音、促音、撥音、拗音に注意して単語や簡単な文を聞く。
- ② 簡単な日本語の教室用語を聞いて行動する。
- ③ 挨拶、紹介に関連した簡単な会話を聞く。
- ④ 感謝、謝罪、褒め、承諾に関連した簡単な会話を聞く。
- ⑤ 情報要求、比較、選択、経験に関連した簡単な会話を聞く。
- ⑥ 依頼、勧誘に関連した易しくて簡単な会話を聞く。

##### (2) 話す

- ① 清濁音、長短音、促音、撥音、拗音に注意して、聞いてリピートする。
- ② 挨拶、紹介に関連した簡単な会話をする。
- ③ 感謝、謝罪、褒め、承諾に関連した簡単な会話をする。
- ④ 意思疎通基本表現を状況に応じて適切に話す。
- ⑤ 情報要求、比較、選択、経験に関連した簡単な会話をする。
- ⑥ 依頼、勧誘に関連した簡単な会話をする。
- ⑦ 簡単な相づちなどを入れて会話をする。

##### (3) 読む

- ① ひらがなとカタカナを正しく読む。
- ② 清濁音、長短音、促音、撥音、拗音に注意して文章を読む。
- ③ メモ、葉書、カードなどの簡単な文章を読む。
- ④ インターネット上で短くて易しい文章を探して読む。
- ⑤ 日本文化に関する短くて易しい簡単な文を読む。

##### (4) 書く

- ① ひらがなとカタカナを正しく書く。
- ② 学習用漢字を正しく書く。
- ③ 学習した単語や簡単な文章を聞き取って書く。
- ④ 簡単なメモ、葉書、電子メールなどを作成する。
- ⑤ 日常生活に関する短くて易しい文を書く。

#### 2) 言語材料

##### (1) 発音及び文字

- ① 発音は現代日本語の標準的発音を基本とする。

- ② 仮名の表記は「現代仮名づかい」に従う。
- ③ 漢字の表記は一般系列高等学校日本語教育課程【別表Ⅱ】に提示されている学習用漢字を使うが、できるだけ仮名で表記する。

(2) 語彙

一般系列高等学校日本語教育課程【別表Ⅱ】に提示されている基本語彙のうち、300語程度を使用する。

(3) 文法

文法は「意思疎通基本表現」に使われた文法項目を取り扱うが、一般系列高等学校日本語教育課程に提示されている「意思疎通基本表現」から外れた文法項目は取り扱わない。

(4) 意思疎通基本表現

意思疎通基本表現はコミュニケーション能力を効率的に養うものであるが、以下に提示した基本表現を積極的に活用する。

【意思疎通基本表現】

- ・ 以下は、生活日本語教育課程で優先的に扱うことを勧める意思疎通基本表現である。ここに掲げられていない項目や表現も必要に応じて使用することができる。
- ・ これらの意思疎通基本表現は、会話の展開過程で必要な意思疎通機能別表現として状況や水準に応じて活用でき、文法項目も参照できるよう提示したものである。

1. 挨拶	
1) 出会い	おはよう。／おはようございます。
	こんにちは。
	こんばんは。
	ひさしぶり。／おひさしぶりです。
2) 別れ	じゃあね。
	またあした。
	では、また。
	バイバイ。
	さよ(う)なら。
	げんきでね。／おげんきで。
	きをつけてね。／ おきをつけて。
	では、しつれいします。
	おやすみ。／おやすみなさい。

3) 外出	いってきます。
	いって(い)らっしゃい。
	ただいま。
	おかえり。／おかえりなさい。
4) 食事	いただきます。
	ごちそうさまでした。
5) 訪問	ごめんください。
	おじゃまします。
	しつれいします。
6) お祝い	たんじょうび、おめでとう。
	げんき？／おげんきですか。
2. 紹介	
1) 自己紹介	はじめまして。
	キム ボラです。(ともうします)
	かんこくからきました。
	こちらこそどうぞよろしくおねがいします。
	わたしのでんわばんごうは317-9238です。
2) 家族紹介	ははです。
	おとうとはちゅうがくせいです。
3) 他己紹介	こちらはたなかさんです。
	ともだちのキムです。
3. 配慮及び態度伝達	
1) 感謝	どうも。／ありがとう。／ありがとうございます。
	おかげさまで。
2) 謝罪	すみません。
	ごめん。／ごめんなさい。
3) 褒め	にほんごがおじょうずですね。
	すごいですね。
	よくできました。
4) 承諾・同意	ええ、いいですね。
	ええ、もちろんです。
	はい、どうぞ。
	はい、わかりました。
	そうしましょう。

5) 断り	いえ、けっこうです。
	もういいです。
6) 遺憾	ざんねんですね。
7) 励まし・慰め	がんばれ。／がんばってね。／がんばってください。
	なかむらさんならできますよ。
	だいじょうぶですか。
4. 情報交換	
1) 情報要求	なににしますか。
	なんにんかぞくですか。
	しゅみはなんですか。
	にほんのしんぶんをよむことができますか。
	たんじょうびはいつですか。
	トイレはどこですか。
	どんなスポーツが好きですか。
	いま、なんじですか。
	テストはなんじからなんじまでですか。
2) 比較	スポーツのなかでなにがいちばん好きですか。
	ジュースとおちゃとどちらがいいですか。
	バスよりでんしゃのほうがはやいです。
	サッカーはできますが、スキーはできません。
	にほんごははなせますが、えいごははなせません。
3) 選択	ぼくはおちゃにします。
4) 経験	にほんへいったことがあります。
	にほんのアニメをみたことがありますか。
5) 確認	だいぶさむくなりましたね。
5. 行為要求	
1) 依頼	ちょっとまってください。
	そのほん、かしてくれる。
2) 勧誘	アイスクリームはどうですか。
	あしたえいがをみにいきませんか。
	きょうはおうちでたべましょう。
	よかったらいっしょにいかない。
	おちゃ、どうぞ。
3) 許可要求	ハングルでかいてもいいですか。
4) 禁止	あそんではだめです。

	あそんではいけません。
6. 対話進行	
1) 呼びかけ	あのう。
	すみません。
	しつれいですが。
2) ためらい	ええと。
	ああ、どうしよう。
3) 相づち	あ、そうですか。
	やっぱり。
	そうですね。
	ほんとう？
4) 聞き返し	なに？

## 2. 文化的内容

(1) 意思疎通基本表現と関連した日本人の言語行動文化の理解に役立つものとする。以下に提示した内容は選択して取り扱うことができる。

- ① 言語行動に関する内容（表現的特性、相づちなど）
- ② 非言語行動に関する内容（身振り、手振りなど）

(2) 日本人の日常生活文化の理解に役立つものとする。以下に提示した内容は選択して取り扱うことができる。

- ① 家庭生活に関する内容（挨拶、訪問マナー、家庭内の生活文化など）
- ② 学校生活に関する内容（クラブ活動など）
- ③ 服飾文化に関する内容（衣服の種類など）
- ④ 食文化に関する内容（飲食物の種類、食事エチケットなど）
- ⑤ 住文化に関する内容（住宅事情など）

(3) 伝統文化と大衆文化の中で日本人と日本社会を理解するのに役立つものとする。以下に提示した内容は選択して取り扱うことができる。

- ① 年中行事に関する内容（祭り、お正月、ひな祭り、こいのぼり、お盆、七五三など）
- ② 伝統芸能に関する内容（茶道、生け花など）
- ③ 遊びの文化に関する内容（花見、花火など）
- ④ 大衆文化に関する内容（漫画、アニメなど）

(4) 次の項目に留意して文化的内容を構成する。

- ① 内容は実用的なものとするが、最新の資料を基準に構成する。
- ② 学習者の興味、ニーズ、知的水準などを考慮して学習意欲を高められる

内容とする。

- ③ 言語表現と関連した素材領域は上記に提示されている「意思疎通基本表現」範囲内の項目を参照し、このような表現が適切な文脈の中で活用できるように構成する。これにより、特定の素材領域と関連した適切な表現方式が自然に習得できるようにする。
- ④ 文化内容の説明の際、必要な場合には韓国語を使用することができる。
- ⑤ 日本の日常生活及び社会文化を正しく理解し、これを韓国文化と比較し、相違点及び共通点を認識するように内容を構成する。